

むくのきだより

4月号

令和2年4月7日

港区立赤羽幼稚園 園長 宮崎 直人



むくのき つよいき やさしいき どんどのびろ どこまでも

園長 宮崎 直人

暖かな春の日差しが嬉しい季節となりました。菜の花や森の小道のハナニラやツルニチニチソウの花々も暖かい春の光をいっぱい浴びて輝いています。

新型コロナウイルスが今も猛威を振るう中で、今後も、これまでに例のない対応を行わなければならない可能性が高まっています。赤羽幼稚園におきましても、子供たちの安全を第一に様々な対応を行ってまいります。引き続きご協力をよろしくお願いいたします。

お子様のご入園、ご進級おめでとうございます。始業式、入園式は5月に延期になりましたが、本年度は14名の新入園児を迎え、4歳児年少さくら組14名、5歳児年長ゆり組24名、全園児38名でスタートする予定です。子供たち一人一人、それぞれ希望に胸をふくらませて入園・進級し、新年度を迎えられるよう準備を進めていきたいと思っております。

港区立赤羽幼稚園は、昭和45年に開園し、今年で50年目を迎えます。今年度は、創立50周年という記念すべき節目の年になります。赤羽幼稚園の歴史を振り返り、これまで培ってきた本園の歴史と伝統を重んじ、未来に継承するとともに、新しい時代に即した幼稚園経営を進めてまいります。

そこで、人間尊重の精神を基調とし、健康で知性と感性に富み、たくましく生きる人間性豊かな幼児の育成を目指し、以下のように本園の教育目標を設定いたします。

- 人や自然を愛し、心の豊かな子 「やさしい子」
- 好奇心をもち、進んで考え、創意工夫する子 「考える子」
- 健康で明るく、素直に言葉や態度で表現する子 「元気な子」



幼児期の教育は、人間形成の基礎を培う重要なものです。幼児の発達の特性を踏まえ、基本的な生活習慣の定着とともに、人と関わる力や思考力・判断力・表現力の芽生え、規範意識の芽生えの育成等の充実が必要であると考えます。

そこで、一人ひとりの発達の特性を踏まえ、基本的な生活習慣を身に付け、生活や遊びの中で主体的に考え、行動することができる幼児を育成することができるよう、以下の基本方針のもと、教育活動を展開してまいります。

(1) 社会に開かれた教育課程

地域とともにある幼稚園として、地域学校協働本部を設置し、近隣の教育資源を生かし教育活動を行います。幼稚園、保護者、地域が相互に連携、協働を図りながら、幼稚園が家庭と地域をつなぐ役割を果たします。

- ① 園外活動や交流活動等、地域社会と関わる活動を通して、幼児が地域の環境や身近な人に親しみ、関わりを深め、人への愛情や信頼感を育みます。
- ② 積極的に教育内容の情報発信を行うとともに、地域の方や学識者、保護者による学校関係者評価、自己評価を行い、園の教育活動に生かします。また、組織的・計画的にカリキュラム・マネジメントを行い、教育内容の質の向上を図ります。

(2) 挨拶や礼儀を重視し、道徳性や規範意識の芽生えを培う教育

様々な生活の場面や活動を通して、友達と楽しく過ごすための約束やきまりが分かり、自分の気持ちを調整しながら行動する幼児を育成します。

- ① 人との関わりや社会生活の中で必要な礼儀や挨拶、感謝の心を育む教育を推進する。
- ② 集団生活の中でよいことや悪いことがあることに気付き、考えて行動することで、思いやりの気持ちを育む。

(3) 小学校教育への円滑な接続に向けた幼稚園教育の充実

幼稚園から小・中学校への学びの連続性や保育園・小学校との連携による小学校入学前教育の充実を目指します。

- ① 自発的な遊びや学級や学年での活動等、指導形態や指導方法を工夫し、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を目指し、教育活動を意図的・計画的に実施します。
- ② 幼児が多様な体験を通して、豊かな感性と創造性を育む教育を推進します。

教職員一同、今年度も、「チーム赤羽」として、子供たちのために、全力で職務にまい進してまいります。前述したように、子供たちの健やかな成長には園と家庭との密接な連携が欠かせません。家庭や地域との絆を深め、しっかりと手を携えて進めていきたいと考えています。保護者の皆様、地域の皆様の温かいご支援とご協力を、どうぞよろしくお願いいたします。